

令和5年度 保護者からの児童発達支援・放課後等デイサービス評価表

有効回答人数 43名

区分	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	
環境・ 体制整備	1	37	5		1	0
	2	40	0	0	3	0
	3	40	0	0	3	0
	4	40	1	0	2	0
適切な 支援の 提供	5	43	0	0	0	0
	6	43	0	0	0	0
	7	41	1	0	0	1
	8	42	0	0	1	0
	9	14	7	2	18	2
保護者への 説明等	10	42	1	0	0	0
	11	41	1	1	0	0
	12	32	2	1	8	0
	13	42	1	0	0	0
	14	43	0	0	0	0

区分		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答
保護者への説明等 (続き)	15	16	8	3	16	0
	16	32	3	0	8	0
	17	43	0	0	0	0
	18	32	2	0	8	1
	19	40	0	0	3	0
非常時等の対応	20	31	4	1	7	0
	21	29	2	2	10	0
満足度	22	43	0	0	0	0
	23	43	0	0	0	0

【チェック】

「本人にわかりやすく構造化された環境」とは

この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは

児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」とは

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」とは

保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。